

迷走する西岡市長の発言で、遅れる新福社会館の建設

西岡市長の発言によりぶれる方針

- 平成23年 旧福社会館の耐震の結果、問題ありと出たため、補強工事が建て替えかを庁内で検討。
- 平成25年 五十嵐京子市議5期目をスタートさせ、方針の早期決定を求める。
- 平成26年2月 市民だった方からの3億円の寄附が小金井市へ。
- 同年 新福社会館を第二庁舎北駐車場（本町暫定庁舎用地）に**決定**。
- 平成27年12月 新福社会館建設検討委員会スタート（平成31年度完成予定）したものの、市長交代により**中断**。
- 同年12月 **公約に「6施設複合化」を掲げ、西岡市長の誕生**。
- 平成28年5月 西岡市長、6施設を**4施設に公約を変更し、「ゆるぎない方針」と述べる**。
- 同年10月 **4施設も含め、ゼロベース見直し発言（=公約の撤回）**。
- 同年12月 庁舎と福社会館の5年後の完成を公言するも、**福社会館の建設場所は未定**。（平成33年度完成予定）
- 平成29年2月 福社会館を蛇の目跡地に建設し、子育て機能など新たな機能を盛り込むことを公言。旧福社会館の建て替えではなく、**根本から福社会館構想を考え直そうという提案**。

利用する市民、議会の「早期建設を」に反して

旧福社会館は平成28年3月をもって市民利用は終了し、今年には解体の方向

に進む予定です。稲葉前市長の時代の方針を進めれば、平成31年度には完成予定でしたが、西岡市長が昨年の10月に公約を撤回してからは、早期の建設という方針は変更されてしまったようです。5年後の完成（平成33年度）を目

指すとして、当初は旧福社会館の機能を基本に考えられていた新福社会館は、基本構想など福祉の基本から考え直すとしており、子育て支援機能、保健衛生機能、災害時ボランティア機能を含めより広い機能を持たせる方針であることが議会に報告されました。新たな建物に新機能を盛り込むとなると、面積の増、そして予算の増、またスケジュールへの影響、さらに現在ある建物の機能との住み分けなど整理が必要になります。明らかに早期建設には反しているものであり、そのことを明言しないのは、市民との対話を重視するという西岡市長のもう一つの公約にも反するものと指摘せざるを得ません。

財政上の根拠や、当初行政決定した第二庁舎北駐車場と蛇の目跡地の案との比較検討も示さず、定例議会毎に違う方針を示す西岡市長に誠意は感じられません。



<http://igarashi-kyoko.com>

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

元小金井市議会議員

五十嵐京子

通信
第45号

2017年3月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920